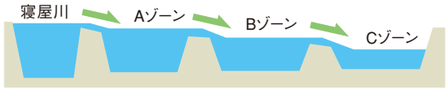
146万m³の一時貯水で大雨、洪水の被害を防ぐ「寝屋川治水緑地」（深北緑地）

深北緑地と呼ばれる寝屋川治水緑地は、寝屋川市の河北から大東市深野北に設けられた遊水池（治水緑地）です。寝屋川の越流堤（えつりゅうてい）から流入する水を大雨の際に、洪水を一時貯留でき、最大で約146万m³の雨水を貯められるので、下流河川に対しての水位低下にも役立っているそうです。深北緑地は、深野池を中心に、親水ゾーンが設けられていますが、それ以外にも、ふだんに市民が集えるふれあいゾーン、各種運動施設を設けているスポーツゾーンを含め約50.3haという広大な敷地を誇っています。非常時に備えた治水施設の工夫に、頼もしさを感じました。

■遊水池　増水・越流時の水の流れ

洪水規模にあわせてAゾーン→Bゾーン→Cゾーンの順で流入します。



■寝屋川治水緑地

寝屋川から Aゾーン

写真は越流時

Aゾーンから Bゾーン

Bゾーンから Cゾーン

排水門

27万m³の貯水が可能な「打上川治水緑地」

「打上川治水緑地」は、洪水発生時の際に寝屋川、打上川の両河川の流量を調整するために設けられた治水緑地で敷地面積は約13ha、貯水能力は27万m³です。緑地内の上池、下池はせせらぎで結ばれ、人工池や噴水があり、充実した景観が楽しめます。防災面においても、特に多目的グラウンドは水に浸かる度合いが低く設計されており、災害時の避難地として重要な役割を担っています。そのほか、大小合わせて約1.2haの芝生広場などもあり、数万人規模の大きなイベントにも活用されています。

増水時は、手前の堤防で流量を調整し、越流させるしくみです。

取材協力：大阪府枚方土木事務所　大阪府寝屋川水系改修工営所　寝屋川市下水道室

Civil Spot しびるスポット

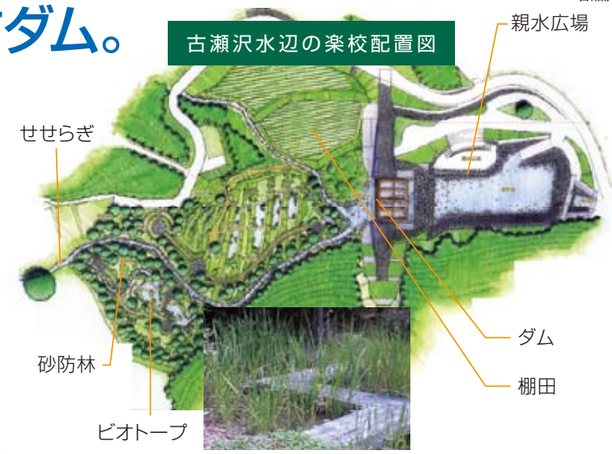
大和川水系・古瀬沢砂防事業

地域にとけ込み環境教育の場としても活用されている砂防ダム。

古瀬沢砂防ダム

奈良県御所市の大和川水系・古瀬沢も、土石流危険渓流があるため整備が必要な地域です。上流には、既に砂防ダムが設けられていましたが、さらに機能向上のために建設されたのが「古瀬沢砂防ダム」です。

古瀬沢水辺の楽校配置図



農地栽培や生き物との共存を楽しく学ぶ古瀬沢水辺の楽校（こせざわがっこう）

「古瀬沢砂防ダム」は、災害防止だけでなく、農地栽培や生き物との共存が楽しく学べる体験学習の場としても活用されています。地域に開かれた環境教育の場として平成11年に完成した自然体験学習型の公園が「古瀬沢水辺の楽校」です。以前のようにホタルが飛び交うような美しい自然を取り戻そうと、湿地を復元させたビオトープ※1も設けられています。また、毎年農地を開拓している実習農園では、葛（くず）中学校をはじめとする地元の子どもたちが、さまざまな野菜や果物を栽培・収穫。堆肥、畝づくり、間引き、草引きなどの作業を通して環境との共生や、防災について理解を深めています。

※1 動植物が自然の状態で生息できるように造成された場所。自然観察池など。

農業実習園で生き生きと活動する子どもたち。

取材協力：奈良県土木部砂防課　御所市立葛中学校
古瀬沢水辺の楽校プロジェクト推進協議会

みらい100見伝　100万人の市民現場見学会

100万人の市民現場見学会

第9回 みんなで行こう空港島

「重機と遊ぼう」

一般市民に土木への理解を深めてもらおうと、日本土木工業協会は関西国際空港用地造成株式会社により開かれている2期空港島でのイベントに毎年「重機と遊ぼう」コーナーで参加。「100万人の市民現場見学会」として親しまれています。8月30日に行われた今年は、10時ごろまで雨模様でしたがその後天気も回復し、約3,500人が来場。夏休み最後の週末とあって家族連れの姿も多く、ブルドーザーやダンプなど大型重機の展示や土木遺産のパネル展示、ミニバックホーによるスーパーボールすくい、ミニカー抽選会などを楽しんでいました。「100万人の市民現場見学会」は、これからも引き続き各地の工事現場で開催される予定です。

大型重機の展示

ミニカー抽選会

ミニバックホーによるスーパーボールすくい